



日本銀行金融高度化セミナー

# 銀行業務への活用に向けた取り組み

2005年12月13日

XBRL Japan 金融委員会

柴田 誠

# AGENDA

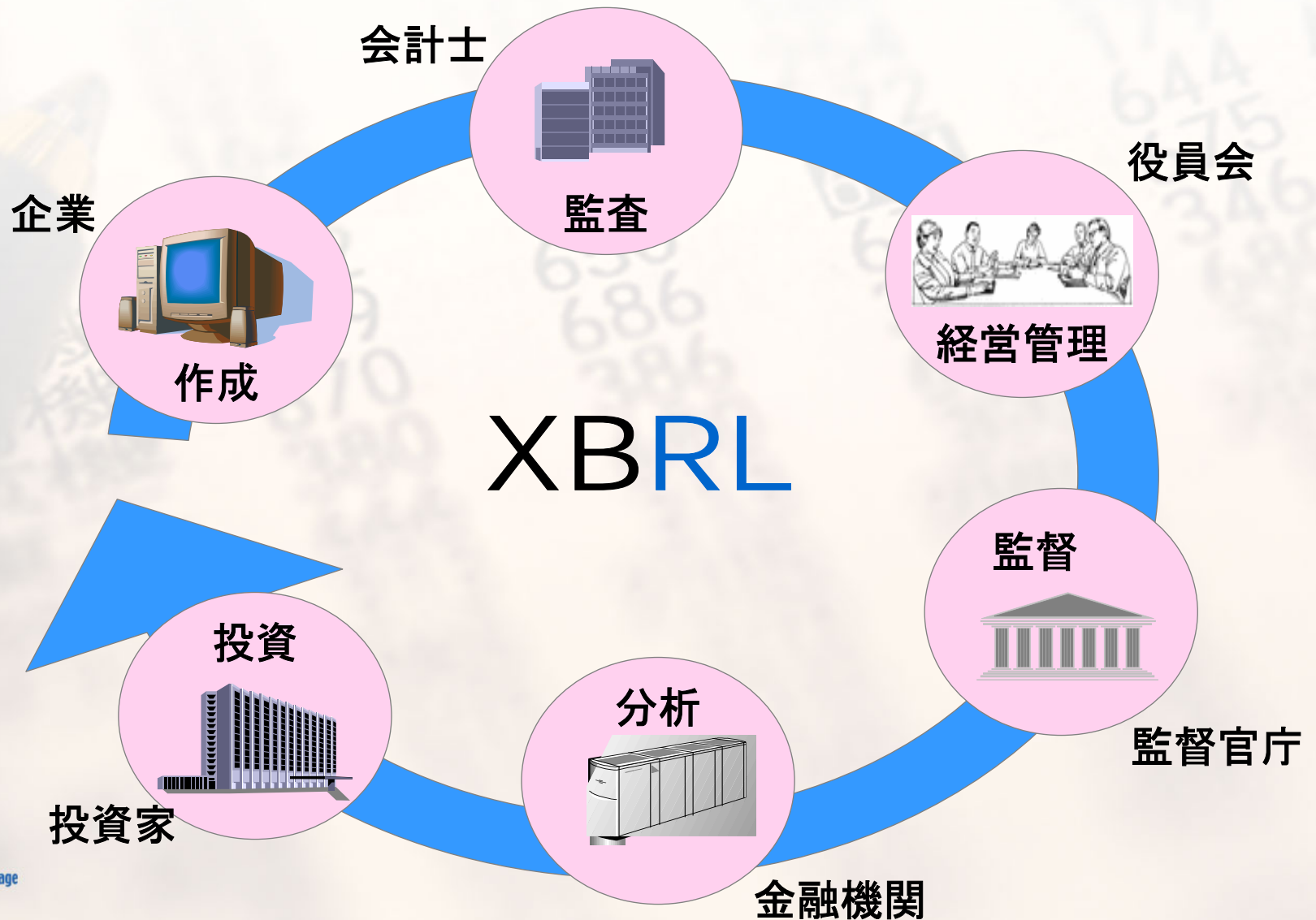
1. XBRL活用のメリット
2. 実用フェーズに入ったXBRL
3. 銀行による利用
4. XBRL Japan金融委員会の実証実験
5. 実用化にむけて

# 1. XBRL活用のメリット

- 財務情報の作成  
Straight Through Processingの実現
- 財務情報の再利用  
XBRLデータは複数の目的に利用可能
- 財務情報の流通  
サプライチェーンの形成

# 1. XBRL活用のメリット

## 財務情報の流通

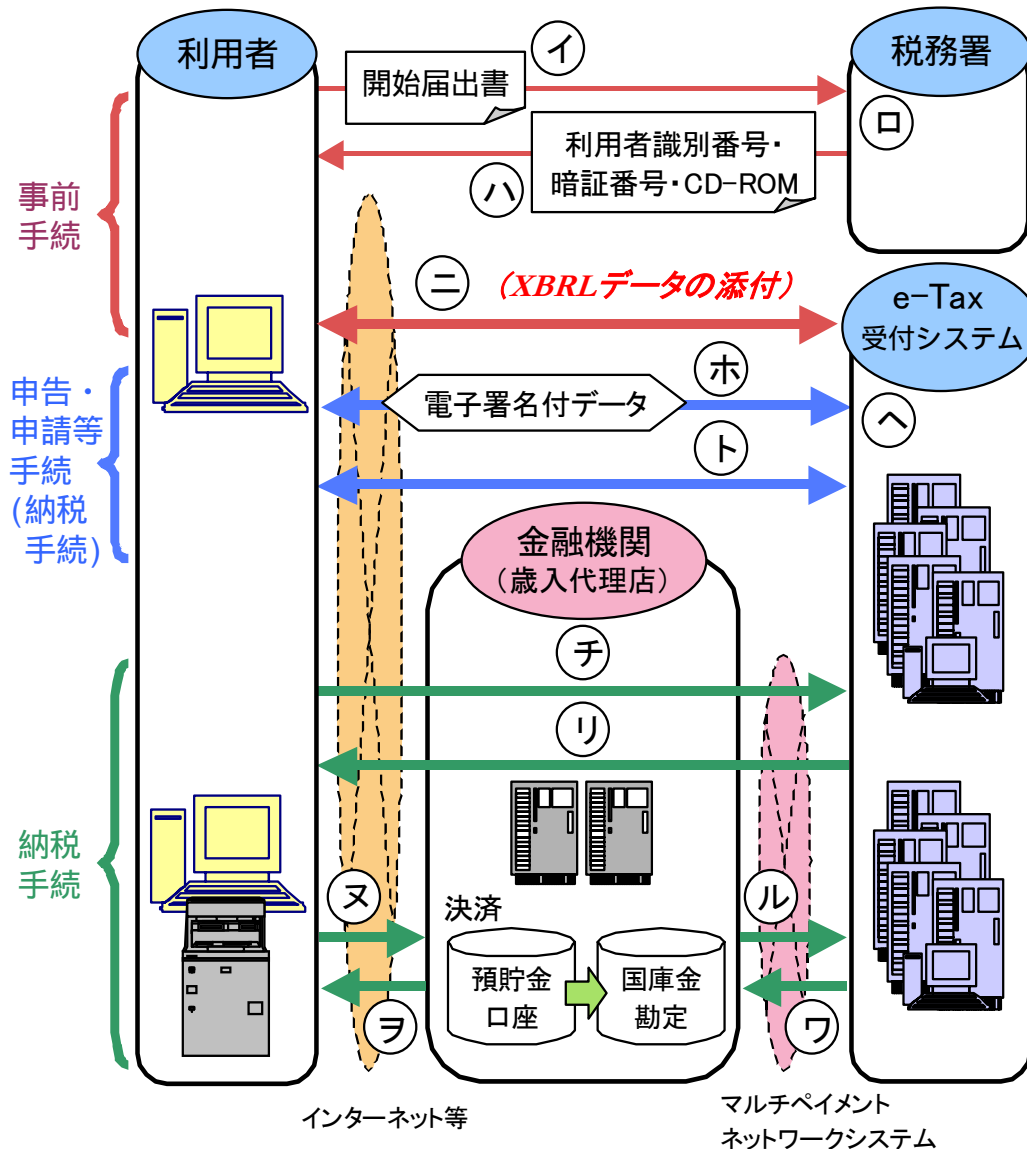


## 2. 実用フェーズに入ったXBRL

- 電子申告の開始  
会計データ提出にXBRL採用
- 会計ソフトウェアの対応  
財務データ作成の普及
- XBRLによる情報開示の拡大  
金融庁や東京証券取引所の対応

## 2. 実用フェーズに入ったXBRL

### 電子申告の全体像



#### (1) 事前手続

- イ 開始届出書の提出  
e-Taxの利用に当たっては、住民票の写しなど一定の書類を添付(提示)して、事前に開始届出書を書面で所轄税務署長に提出します。
- ロ 審査、登録  
開始届出書の提出後、税務署において所要の処理を行います。
- ハ 利用者識別番号及び暗証番号の送付  
税務署から、利用者識別番号及び暗証番号が記載された通知書並びにe-Taxソフトが格納されたCD-ROMが送付されます。
- ニ 暗証番号の変更、電子証明書等の登録/変更・登録した旨のメッセージ  
e-Taxソフト等をパソコンにインストールした後、e-Taxへ初めてログインする際に税務署から通知された暗証番号を任意の暗証番号に変更し、電子証明書等を登録します。

#### (2) 申告・申請等手続

- ホ 申告・申請等データ(電子署名付)の送信/データを受信した旨の通知  
e-Taxソフト等を利用して申告等データを作成し、電子署名及び電子証明書を添付の上、送信します。  
e-Taxでは、送信直後に申告等データのデータ形式等のチェックを行い、受付番号及び受付時間等を送信者のパソコン画面に即時通知として表示します。
- ハ 受信データのチェック等/データのメッセージボックスへの格納  
e-Taxでは、送信直後に行うデータ形式等のチェックとは別に、送信された申告等データの基本的事項(納税者名、住所等)に係る内容確認を行います。この確認の結果は、受信通知としてe-Tax内に用意される利用者ごとのメッセージボックスに格納されます。
- ト 送信データの確認等  
即時通知の確認後、ある程度の時間において再度e-Taxへログインし、e-Tax内に用意される利用者ごとのメッセージボックスで受信通知を確認します。

#### (3) 納税手続(登録方式でインターネットバンキングを利用する場合)

- ホ 納付情報データ(電子署名付)の送信/データを受信した旨の通知
- ハ 受信データのチェック等/納付区分番号等のメッセージボックスへの格納
- ト 納付区分番号等の取得
- チ 収納機関番号、利用者識別番号、納税用確認番号及び納付区分番号を送信
- リ 納税者氏名、税目、課税期間及び納付金額等を通知
- ヲ 納付指図
- ル 領収済データの連絡
- ヲ 納付が完了した旨の通知
- ワ 領収済データ受信の通知

## 2. 実用フェーズに入ったXBRL

# 会計ソフトによる電子申告サポートの例

平成15年度 法人決算申告システム(TPS1000) [2004年03月版]

09999/623 株式会社 大手食品 申告期限:平成16年 5月31日(月)

業務プロセス

- 1 決算業務の開始
- 2 税引前当期純利益の確定と消費税申告書の作成
- 3 利益処分案の入力と未払法人税の確定
- 4 税効果会計の計算と法人税申告書の作成
- 5 科目内訳書等の完成
- 6 決算書・商法注記の作成
- 7 事業概況書・添付書面・受件簿等の作成
- 8 国税・地方税の電子申告

8 国税・地方税の電子申告

A 電子申告データの完成 完了

811 電子申告基本情報の確認

812 電子申告データの作成(完成)   
 ①別途送付書類の名称入力  
 ②B/S、P/LのXBRL変換(入研ワライ処理)  
 ③税務書類のXML変換

C 電子申告受件簿の作成 完了

831 消費税の受件簿の作成

832 法人税の受件簿の作成

▲ 業務処理簿(税理士法41条及び49条の16)作成に必要なデータをOMSサーバへ自動記録します。

< 電子申告データ完成日 >  
 ①法人税: H16. 3.14(16:30)  
 ②消費税: H16. 3.14(16:30)

B 電子申告(国税・地方税)

821 TKC電子申告システム(e-TAX1000) (電子署名・データ送信・受付確認)

< 電子申告データのシス研保存(開発中) >  
 1. 法人税と消費税の電子申告データは、国税受付システムへの送信完了後、シス研で自動保存します。  
 2. TPS1000のワーキングシートデータもシス研で自動保存します。  
 3. シス研でのデータ保存は、平成16年度の電子申告からとなります。

▲ 新種のウィルス発生に備え、電子申告は申告期限の3日前までに完了しましょう!

▼ 業務を選択してください。なお、下のアイコンからプログラムが起動できます。

F1 子定申告 F2 地方税率22% F5 関与先選択 F6 関与先情報 F8 補助機能 F10 終了

提敬 税理士事務所

TKC電子申告システム(e-TAX1000)

関与先名 09999/623: 株式会社 大手食品

事業年度 平15年 2月 1日～平16年 1月31日 課税期間 平15年 2月 1日～平16年 1月31日

法人税の申告期限 平成16年 3月31日(水)(あと10日) 消費税の申告期限 平成16年 3月31日(水)(あと10日)

行	税目	電子申告データ作成	税理士署名	関与先署名	申告受付日時	即時通知	受信通知	期限内	送付書
1	法人税	H16. 3.14(16:30)	完了	完了	H16. 3.22(10:30)	正常	正常	○	有
2	消費税	H16. 3.14(16:30)	完了	完了	H16. 3.22(10:30)	正常	正常	○	無
3	都道府県民税・事業税								
4	市町村民税								

【 国税受付システムへの事前登録 】 (事前登録(変更)日:平成16年 3月11日、有効期限:平成19年 3月10日)

1. 税理士の事前登録 税理士の「独自の暗証番号」「電子証明書」等を登録します。

2. 納税者(関与先)の事前登録 納税者(関与先)の「独自の暗証番号」「電子証明書」等を登録します。

【 電子申告 】

1. 電子申告データ(税務書類)の一覧確認 電子申告データ(税務書類)を帳表イメージで画面確認できます。

2. 税理士の電子署名 税理士が電子署名します。納税者の電子署名後、再度電子署名してください。

3. 納税者(関与先)の電子署名 納税者が電子署名します。電子申告データを切り出し、関与先PCでの署名もできます。

4. 電子申告データの送信・即時通知の確認 国税受付システムへ電子申告データを送信し、「即時通知」を確認します。

5. 受信通知の確認・送付書印刷 国税受付システムの「受信通知」を確認します。「送付書」は、別途送付書類がある場合に印刷。

6. 電子申告完了報告書等の作成 納税者(関与先)への「電子申告完了報告書」を印刷します。電子申告控えCD-Rも作成できます。

7. 終了 業務を終了します。

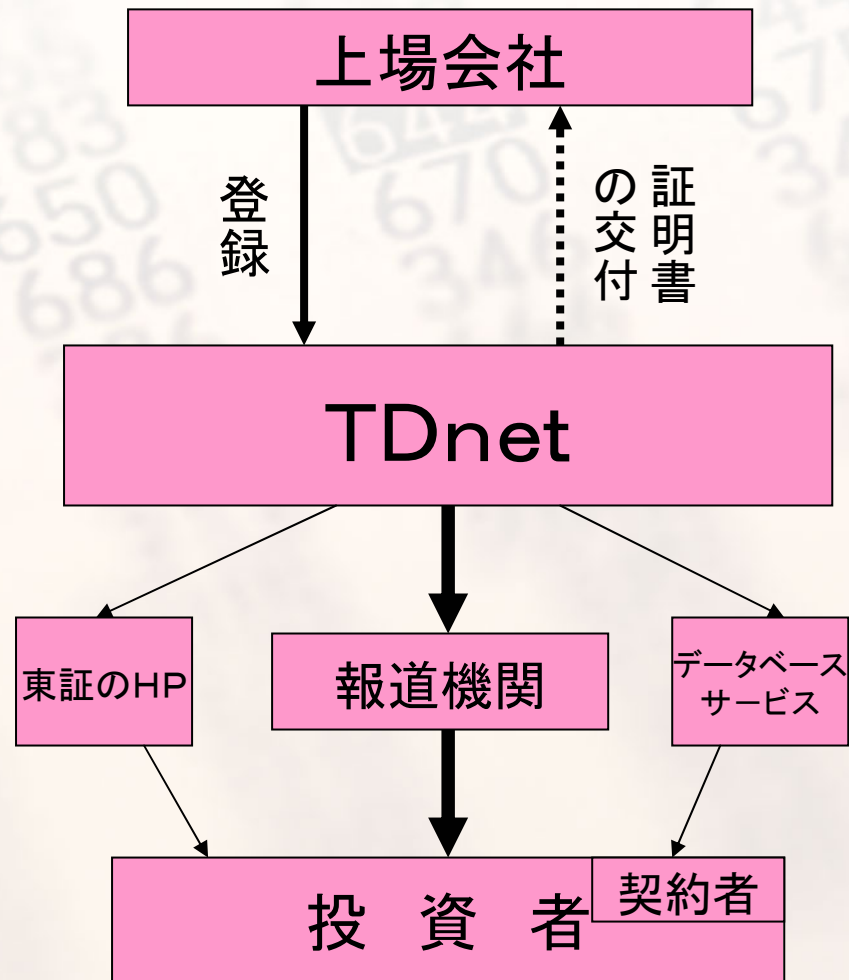
▲ 新種のウィルス発生に備え、電子申告は申告期限の3日前までに完了しましょう!

Copyright(C) 2004 TKC Corporation

## 2. 実用フェーズに入ったXBRL

### 東京証券取引所 — TDnetにおけるXBRLの利用

- 決算短信、業績予想の修正などの数値情報の入力にXBRLを利用
- 開示資料作成ソフトに入力するとXBRL化されたデータ(CSVファイル)とPDFデータ(開示資料)を同時に作成
- 数値情報はXBRLを利用してデータベースに蓄積

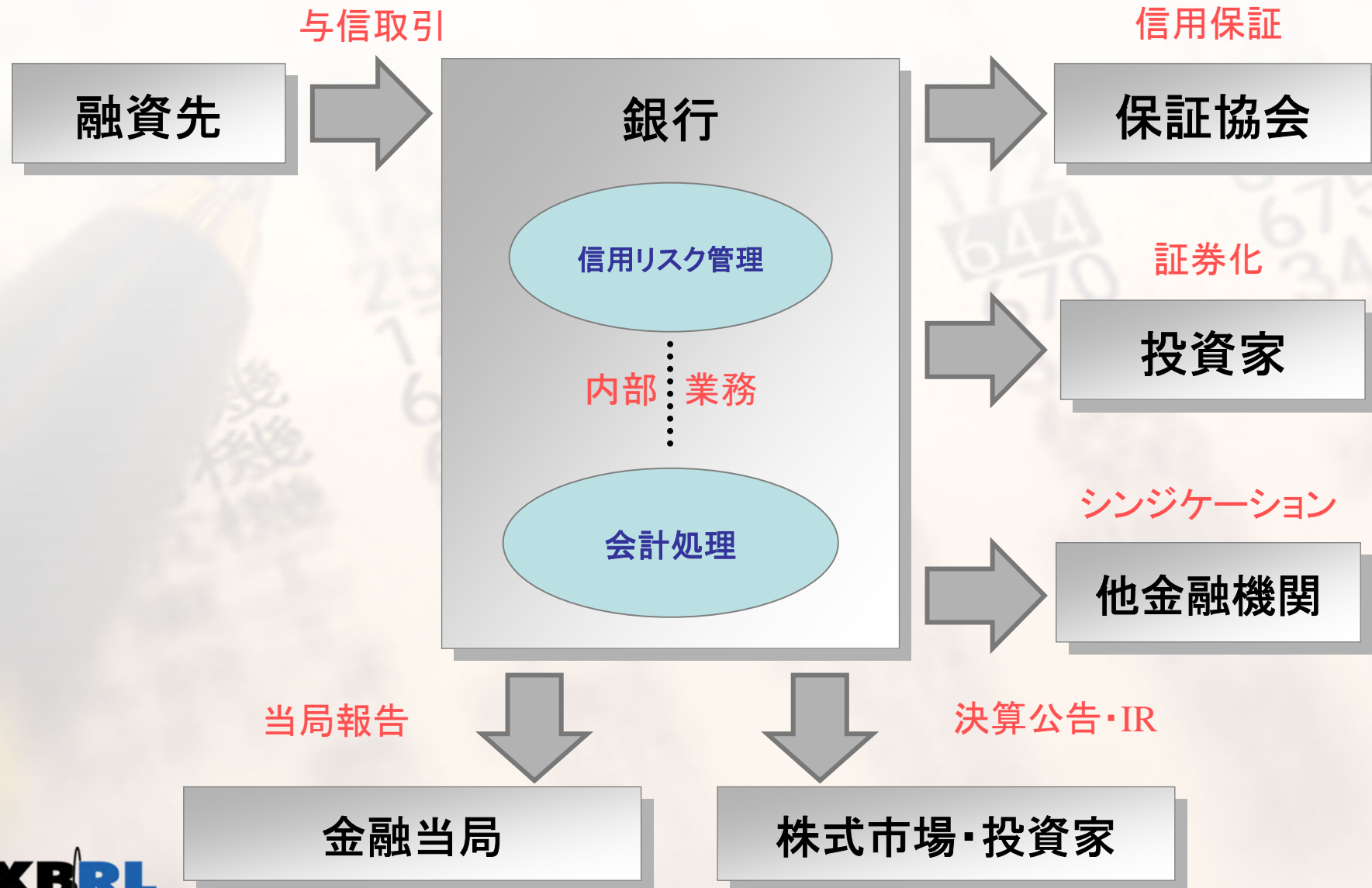




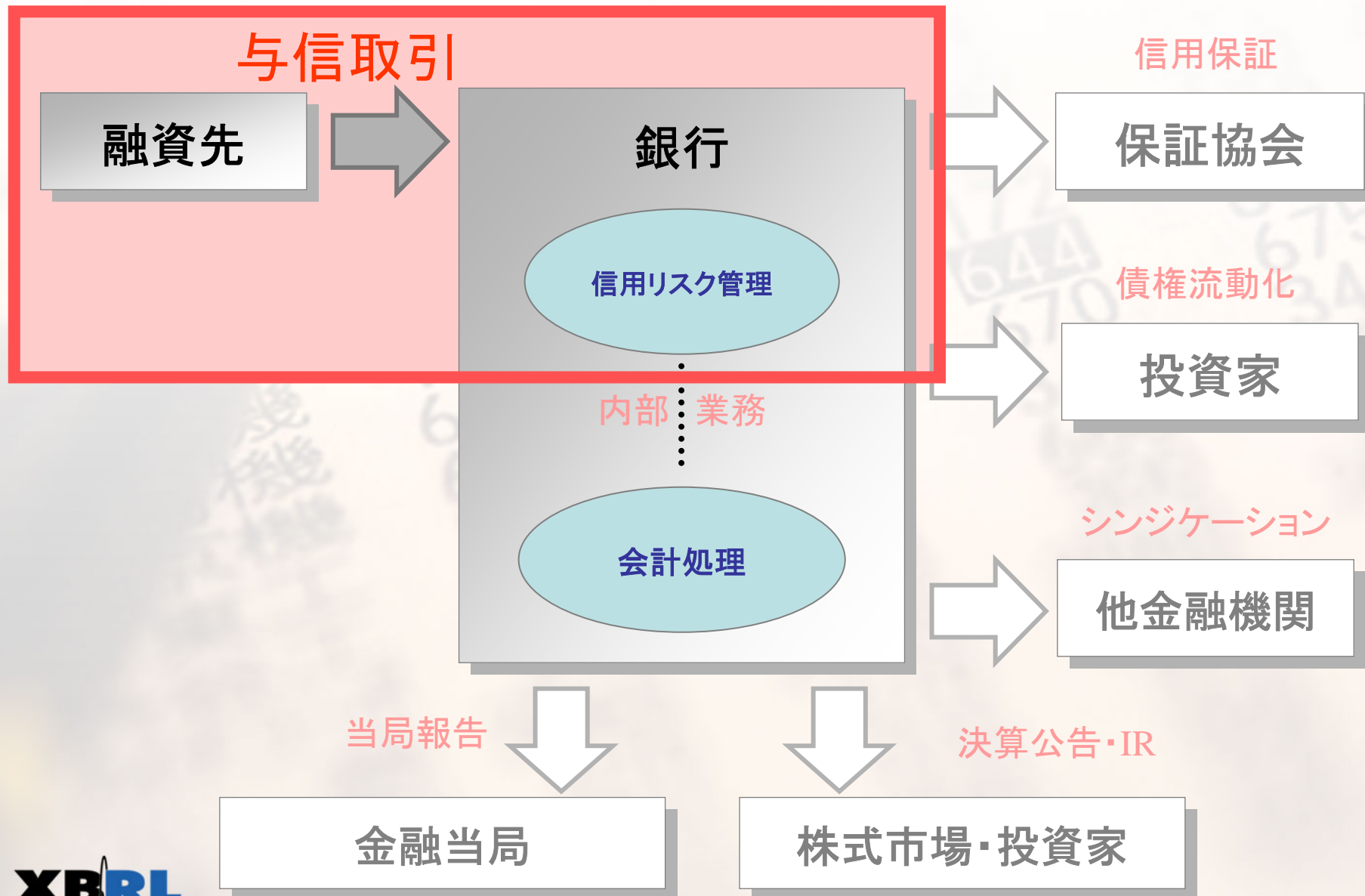
### 3. 銀行によるXBRLの利用

- 与信取引先からのデータ受領  
融資をはじめとする与信取引に必須
- 取引先データの再利用  
保証・流動化・シンジケートローン等
- 当局報告・銀行自身の情報開示  
報告・開示データの作成
- 内部業務での利用  
会計業務・連結集計等

### 3. 銀行によるXBRLの利用

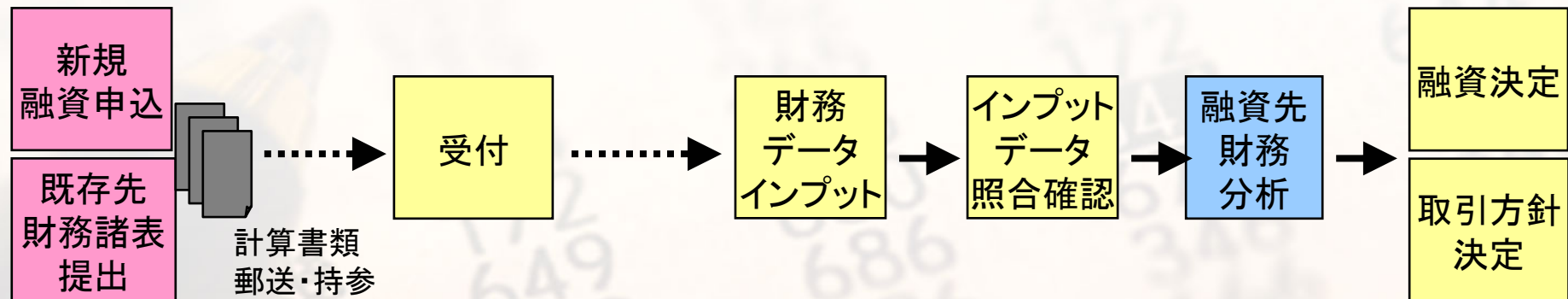


### 3. 銀行によるXBRLの利用

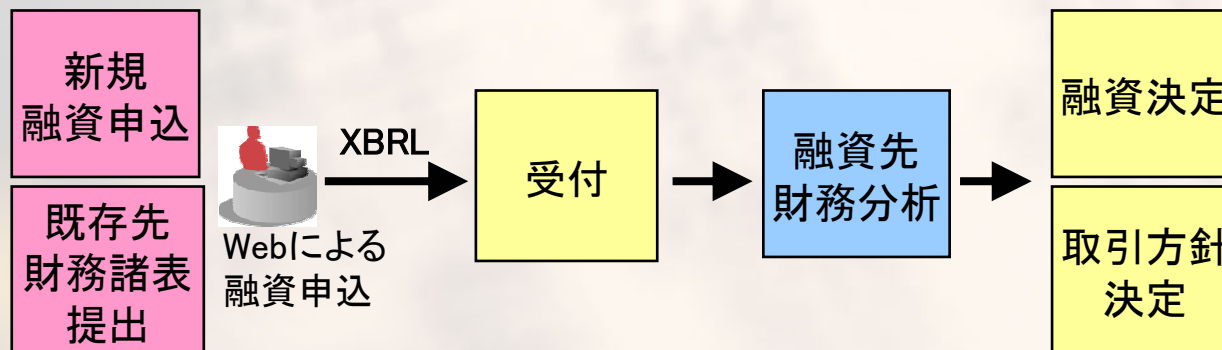


# XBRLによる融資業務の効率化

## 【現行の融資業務フロー】

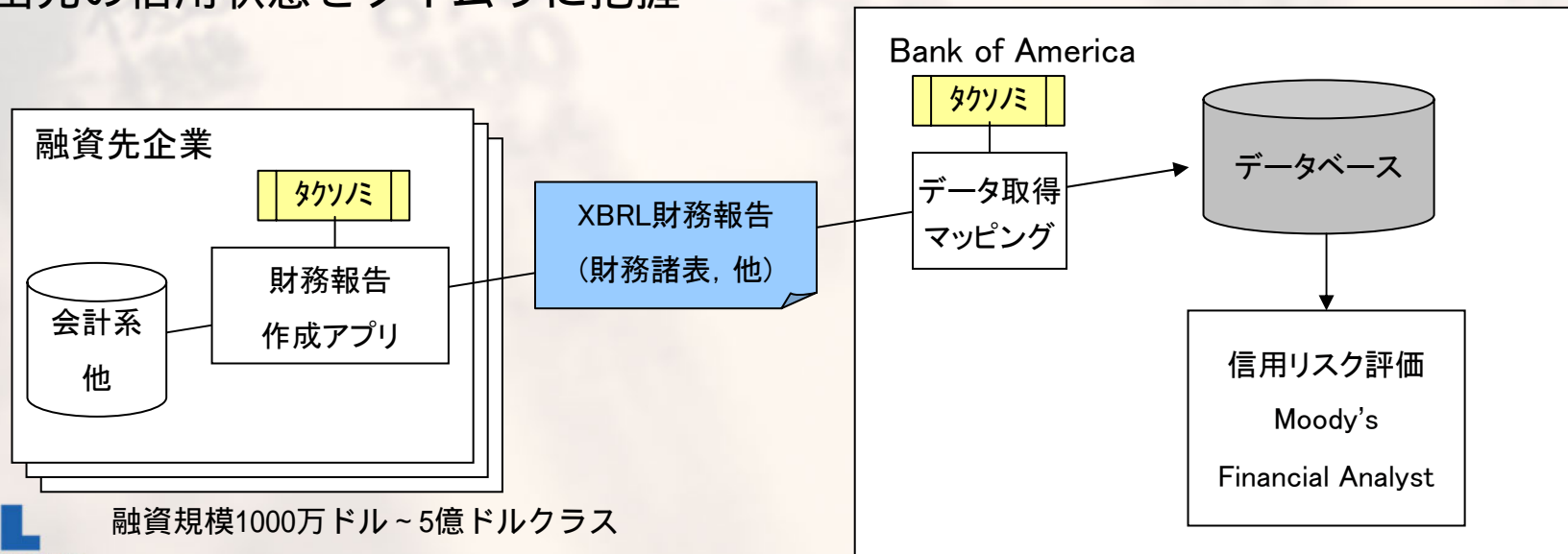


## 【XBRLによる融資業務】



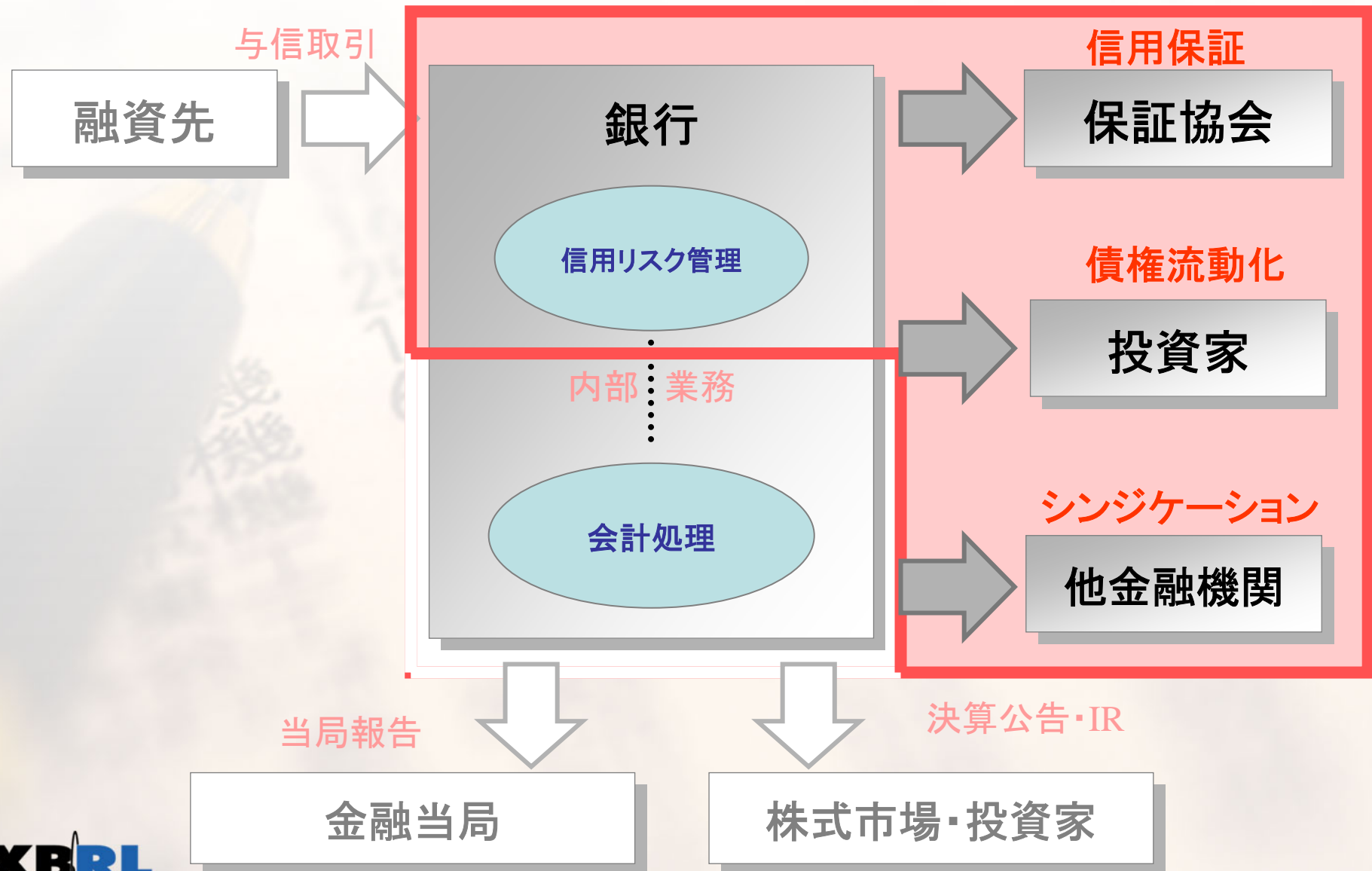
# Bank of Americaの事例－融資業務の効率化

- 法人融資業務において、特にミドル層(融資規模1000万ドル～5億ドルクラス)に対する融資パフォーマンス評価の効率化、高度化にむけて、融資先からのXBRLベースでの財務報告導入を開始。従来は銀行の融資担当者が貸出先企業からの財務報告を手作業でリスク管理システムに再入力していた。
- XBRLを採用することにより、以下が可能となる。
  - 融資担当者の作業工数を軽減
  - 融資評価プロセスの高速化(11日 → 2日)
  - 貸出先の信用状態をタイムリに把握

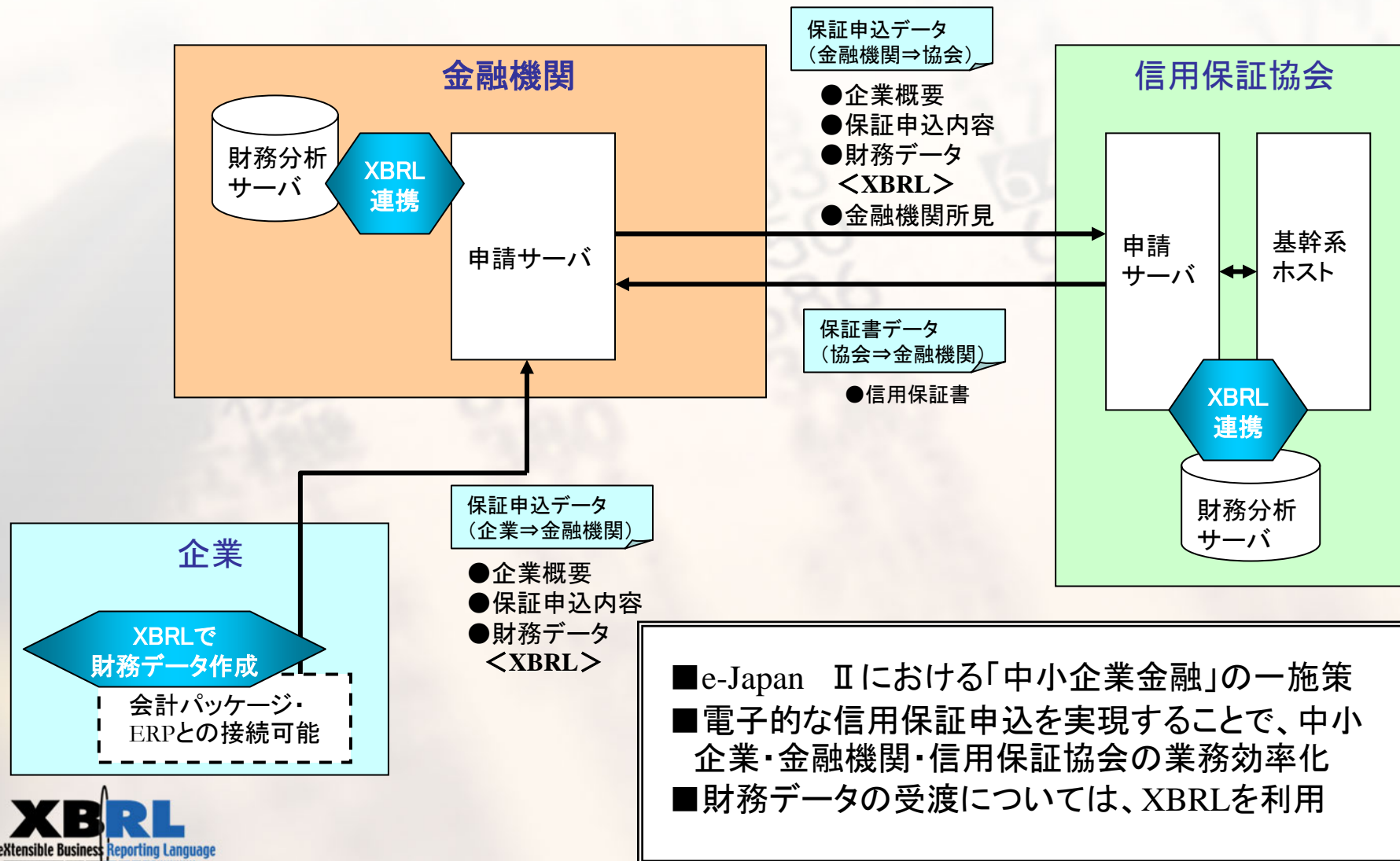


融資規模1000万ドル～5億ドルクラス

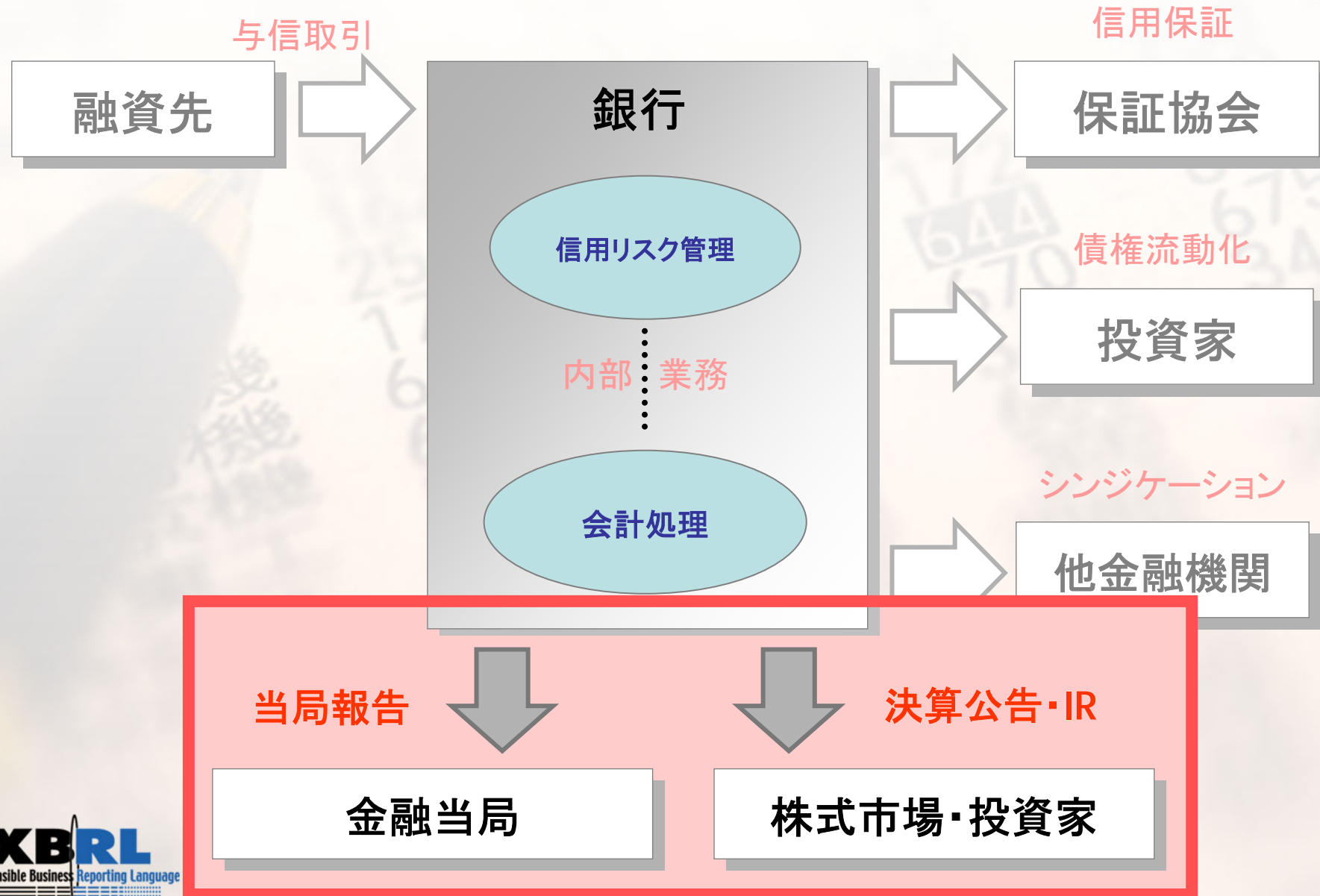
### 3. 銀行によるXBRLの利用



# 信用保証の電子化実証実験

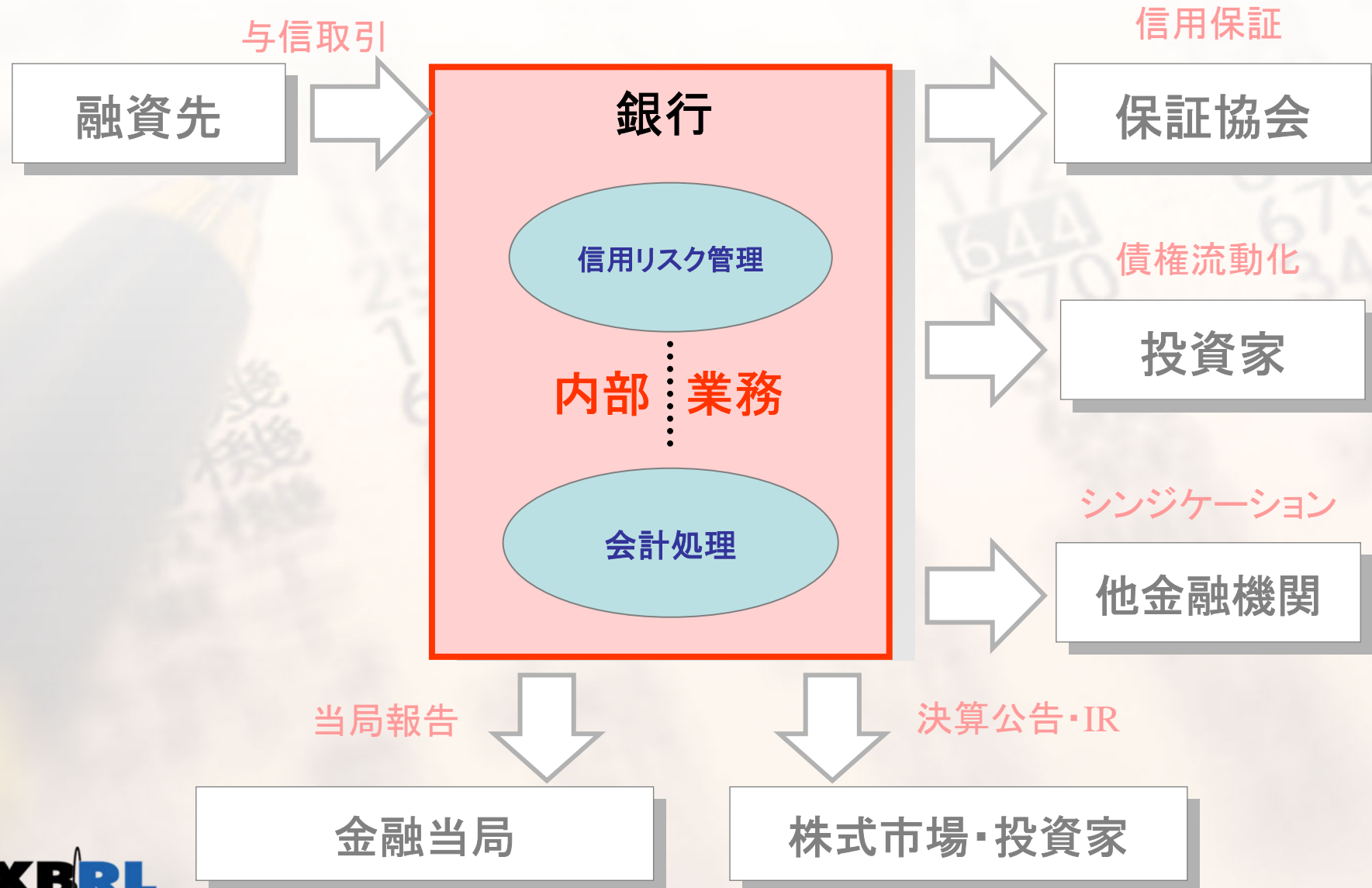


### 3. 銀行によるXBRLの利用





### 3. 銀行によるXBRLの利用



## 4. XBRL Japan金融委員会実証実験

### ■ 第一回（2004年春）

- ・XBRLデータ利用可能性の確認



### ■ 第二回（2004年秋）

- ・融資業務用のタクソノミ作成

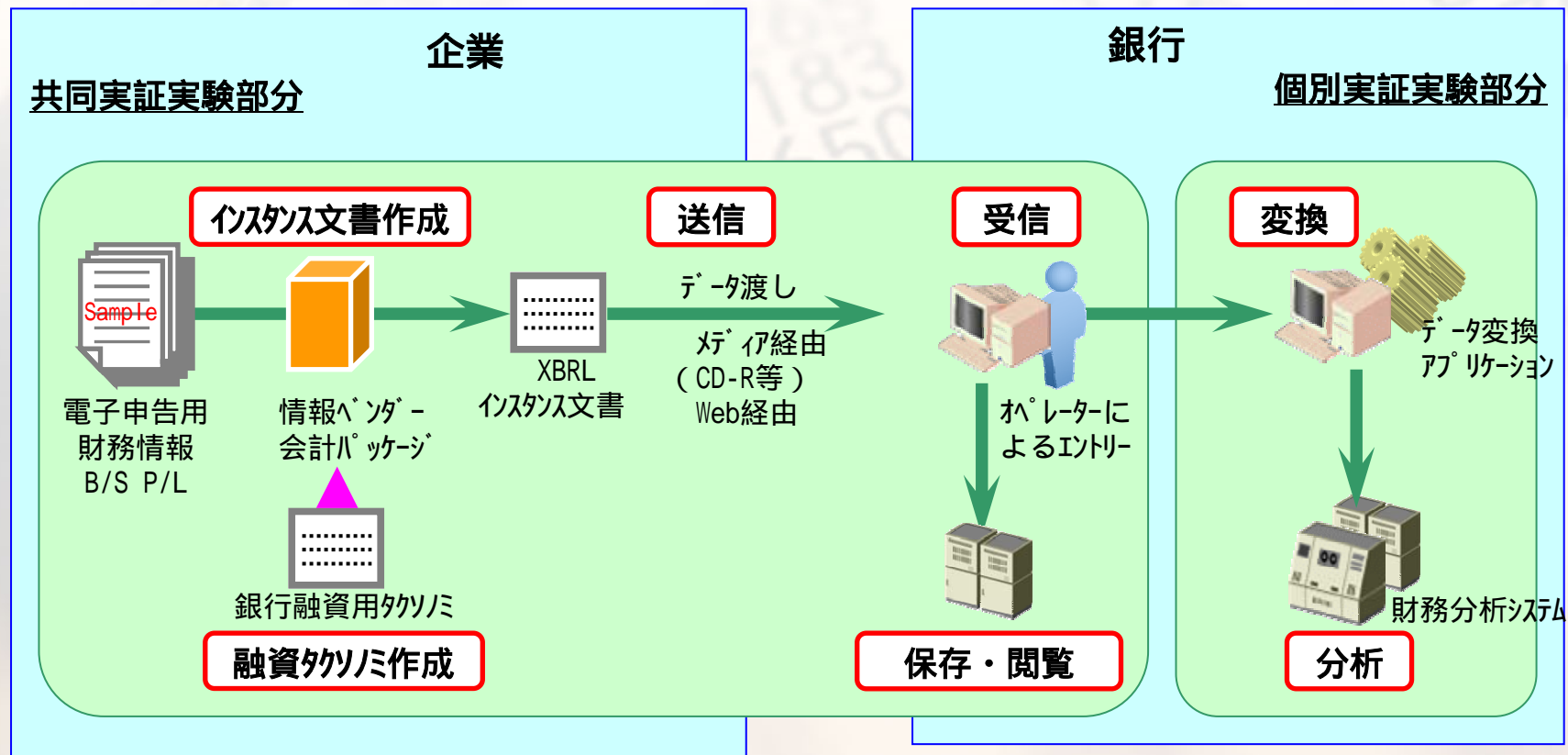


### ■ 第三回（2005年秋）

- ・実際のシステムを使った検証

# 実証実験のイメージ

金融機関が顧客から財務データ及び借入申込等のデータを受領し、融資審査のために分析を行うプロセスを想定。各プロセスをつないだデモシステムを構築し、XBRLが融資業務の効率化に有用であることを確認。



## 5. XBRLの実用化にむけて

- 電子申告データの利用  
データ利用の課題とメリット
- 日本銀行へのデータの提出  
当局報告データ作成の変化
- EDINETデータの利用  
公開企業全体のカバー

# 電子申告データの利用

## <電子申告の現状>

- 法人申告登録届出  
累積50,731社(11月初段階)
  - 法人税申告実績  
累積38,221社(10月末段階)
- <http://www.e-tax.nta.go.jp/>

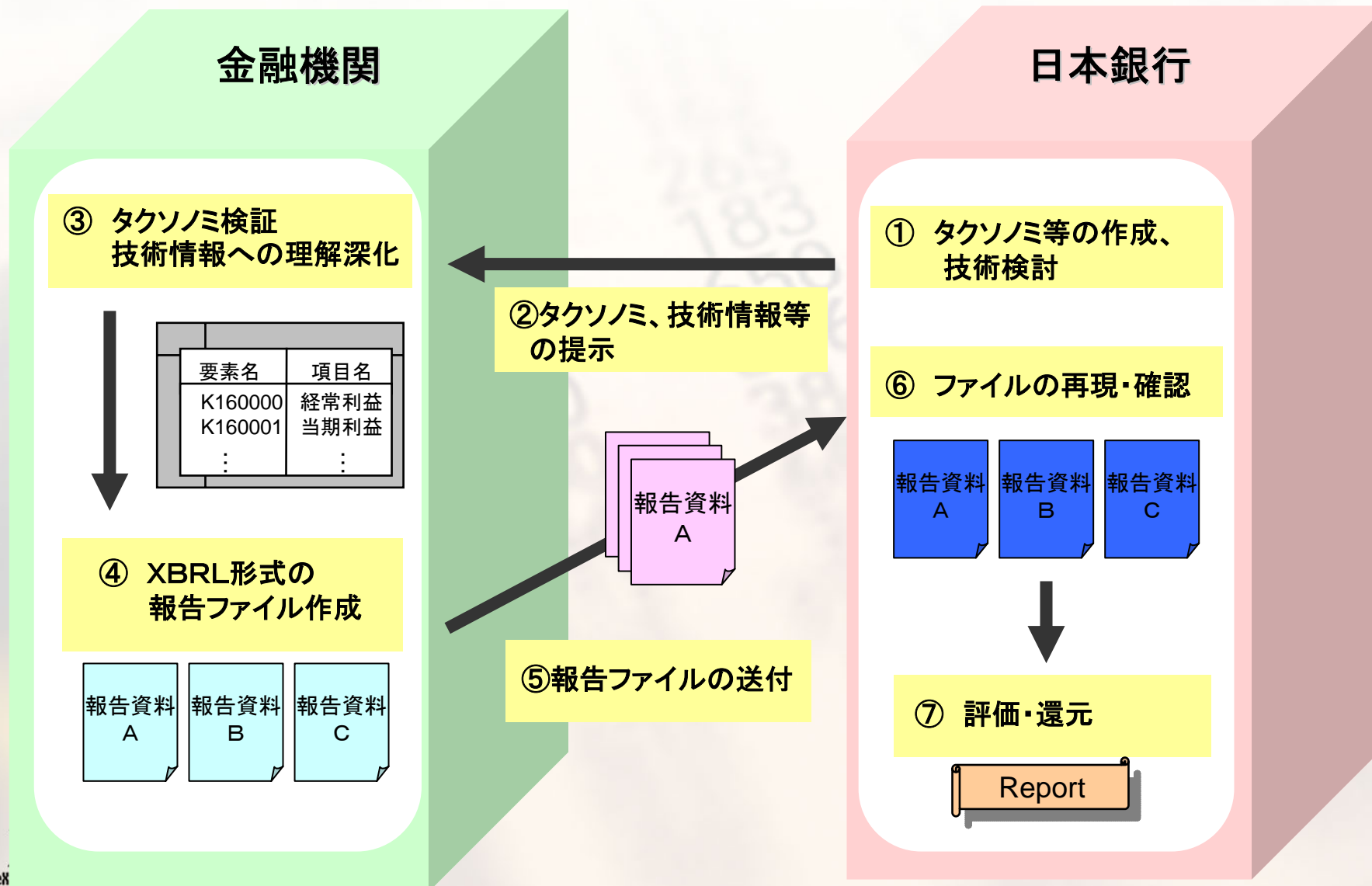
## <申告企業の悩み>

- データの再利用できない
- 印刷しても收受印がない
- 金融機関取引に不便

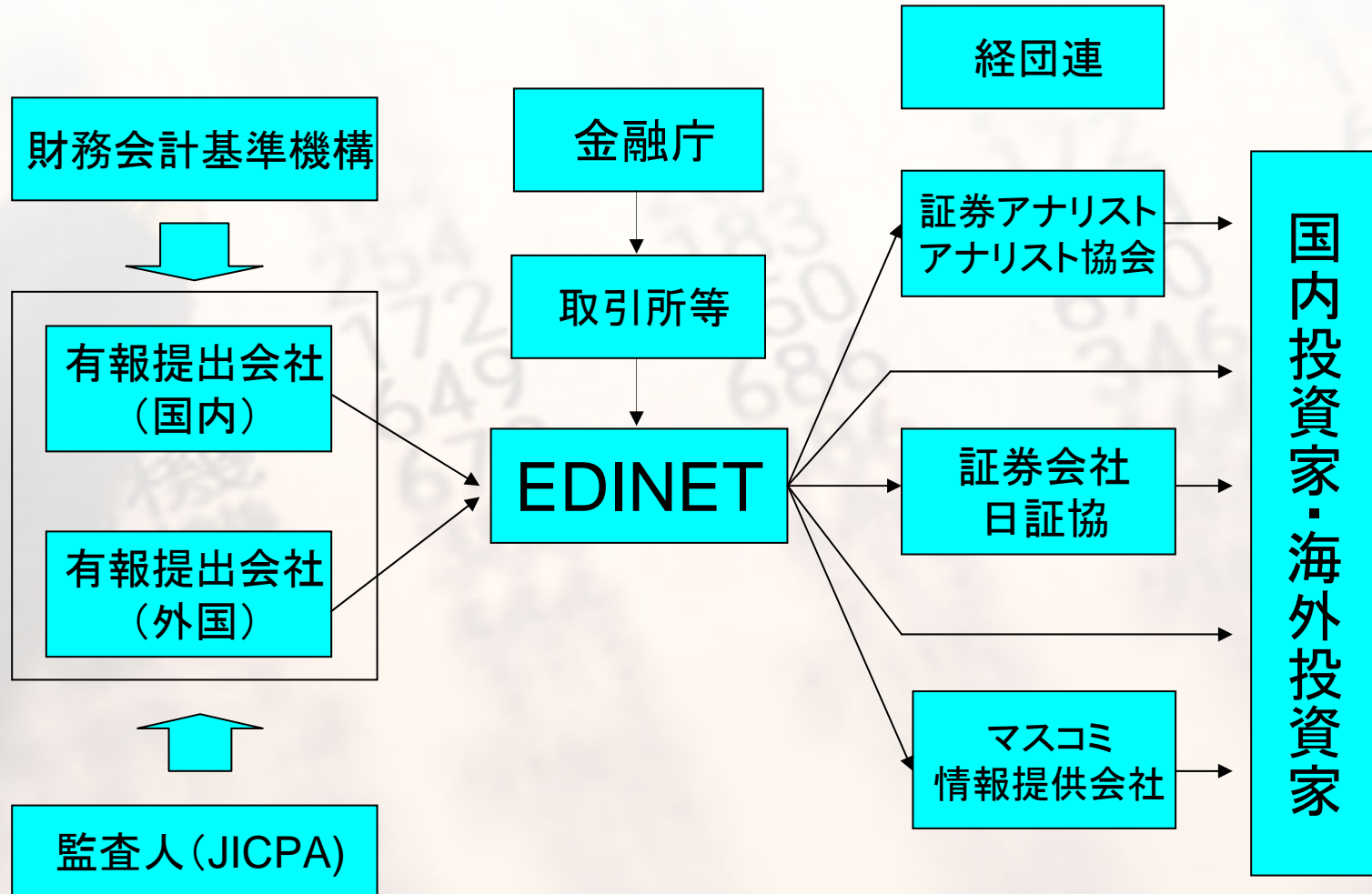
## <申告データ利用の課題>

- 送受信の方法  
改ざん防止  
セキュリティの確保
- 真正性の確認  
申告データとの同一性
- データ処理の方法  
既存インフラの利用  
与信管理システムの変更
- データ保存の方法  
再利用の可能性

# 日本銀行の実証実験



# EDINET高度化に関する協議会の発足



## <参考文献>

(敬称略)

『XBRLによる財務諸表作成マニュアル』

(XBRL Japan監修 日本経済新聞 2003)

『XBRL入門』

(淵田康之 日本経済新聞 2003)

『XML技術とXBRLデータ標準を用いた

インターネット財務情報システム』

(湯浦克彦 ソフトリサーチセンター 2004)

「XBRLの現状と金融機関における今後の活用について」

(柴田誠 『リージョナルバンキング』第56巻8月号 2005)





ありがとうございました

XBRL Japan 金融委員会

柴田 誠